

広報

かやに

NO. 472

平成9年12月10日



児童らが町の木ブナを植林



〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き
—12月1日現在—
男 4,237 (−4)
女 4,315 (−3)
計 8,552 (−7)
世帯数 2,266 (±0)
() は前月比較

全国川西会議が発足

1市3町災害時の応援などを確立

兵庫県川西市

新潟県川西町

山形県川西町

奈良県川西町



左から南雲川西町長、上田(奈良県)川西町長、柴生(兵庫県)川西市長、高橋(山形県)川西町長

「川西」の名前を持つ一市三町が、もつと交流を深め、お互いの発展を目指して「全国川西会議(ネットかわにし)」を発足。十一月十日、兵庫県川西市で各市町の首長、議長など関係者が集まり、設立総会を開きました。

参加自治体は、当町のほか、兵庫県川西市、山形県東置賜郡川西町、奈良県磯城郡川西町の一市三町です。

阪神大震災の際、当町が被災した川西市に義援金を届けたことがきっかけで両市町の交流がスタート。その後山形県と奈良県の川西町にも声をかけ、会議の発足が決まりました。

会議のメンバーは、▼四市町のいずれかが災害に見舞われたときは、応援体制を取る▼互いに情報交換に努めるなどを柱に、協力関係を築いていき、今後、具体的な事業を計画していく予定。いずれは、職員の人事交流、親善使節の交流なども検討し、お互いまちづくりを生かしていきたいと考えています。

お寄せください

あなたの意見・提案・質問

(7~9月到着分)

(40歳・男性)

られます。

① 町の大きなボランティア活動に消防組織がある。春・秋の演習時期が悪いので変えてほしい。

② 千手温泉施設の景観・温泉の効能・駐車場などが町民にわかりにくい。利用しやすい対策を。

③ 演習日は、西分署が事務局となり町消防団で決めています。ご意見のとおり、春・秋いずれも農繁期で多忙な時期にあつて、団員にとっては大変お困りのことと察せ

られます。

近々開催される町消防団幹部会議で、演習時期がずらせないか審議するよう申し入れてあります。

後日、西分署からその結果が出しだい、改めて回答させていただきます。

② 千手温泉は、旧川西幼稚園舎の跡地を仮設で利用していることから、十分な対応が取られていないのが実情です。

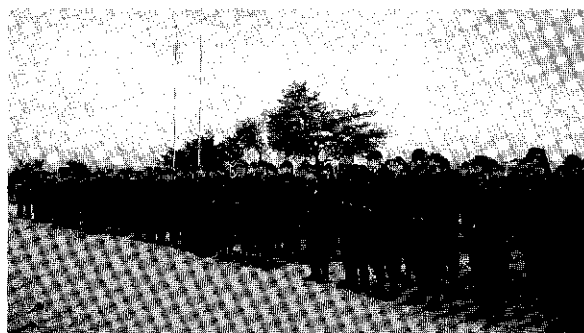
このことから、ただいま温泉施設整備計画を検討しており、実現にはしばらくの時間がかかりますので、ご指摘いただいた内容を大切な提言として対応してまいります。

(64歳・男性)

① 町の西側・山際にブナを植えた遊歩道を十・十五年計画で設置してほしい。

② 遊休地にケナフを栽培することの調査・研究をしてはどうか。

③ 二六公園から三百メートルほど北側に向かった山際に、平成九年度より十一年度の三か年で約三ヘク



今年は5月25日に春の、9月28日に秋の消防演習が実施されました

冬季間の除雪にご協力を！

11月27日、総合センターで町除雪協力が開催され、今冬の除雪計画が決まりました。計画では、町道の1・2種除雪路線を合わせて164路線、69.79キロメートルとなっています。

道路除雪は昼夜を問いません。路上駐車がありますと、作業の能率や交通の安全にも支障となりますので、夜間の路上駐車はしないでください。また流雪溝などに雪を入れる投雪口（フタ）は、使用しない間は必ず閉めておいてください。

なお、古峰神社前を通過する町道山野田下平線は、孫左衛門橋たもとの合流点付近で一部除雪をしませんので、通り抜けできなくなります。ご注意ください。

【お願い】

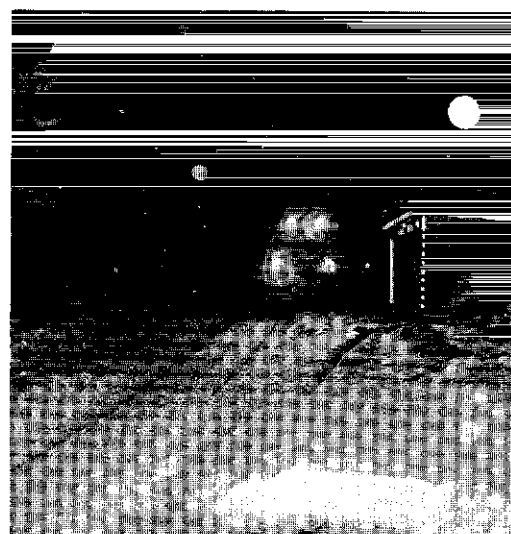
- ①除雪作業中は、機械に絶対に近寄らないでください。
- ②道路上には駐車しないでください。
- ③屋根の雪は路上に捨てないでください。交通事故の原因になり大変危険です。
- ④出入口は、各戸で除雪してください。
- ⑤消火栓など重要なものは、ハッキリと目印をつけてください。
- ⑥雪の降らない時は消雪パイプの運転を止め、節水・節電をしてください。
- ⑦雪捨て場について、地権者のご協力をお願いいたします。雪捨て場の確保ができないと、異常降雪時に交通止め期間が長くなることがあります。
- ⑧ロータリー除雪車などにより投雪してはいけない所には、赤布などによりはつきりと目印を設置してください。
- ⑨豪雪の場合、除雪に時間がかかることがあります。ご了承ください。
- ⑩除雪についての連絡や相談は、十日町土木事務所（☎57-5203）か、役場建設課（☎68-3111 内線322）へ。

北陸地方 寒候期予報

今冬（12～2月）の平均気温は、平年より高い可能性が大きいです。降雪量は平年より少ない見込みです。

冬型の気圧配置は長続きせず、平年に比べて曇りや雪の日が少ない見込みです。この期間の気温は、平年より高い見込みです。

降水量は平年並の見込みで、降雪量は少ないでしょう。



除雪作業は昼夜を問いません

町有地にブナを植林する児童（11/15）



ケナフについては、アオイ科ハ
イビスカス属の植物で、木の皮が
紙の原料になり、良質な紙ができ
ることから、一部地域で話題にな
っているようです。

町においては、ケナフの栽培は
今のところ何の計画はないものの、
今後、調査検討をしていきたいと
考えております。

（59歳・男性）



道路改良には、地権者の同意
が何よりも大切なことです

① 山間地における冬季間の緊急・
救急時のため、ときには民家の門
口まで車両が近づけるような生活
道路の整備を願いたい。

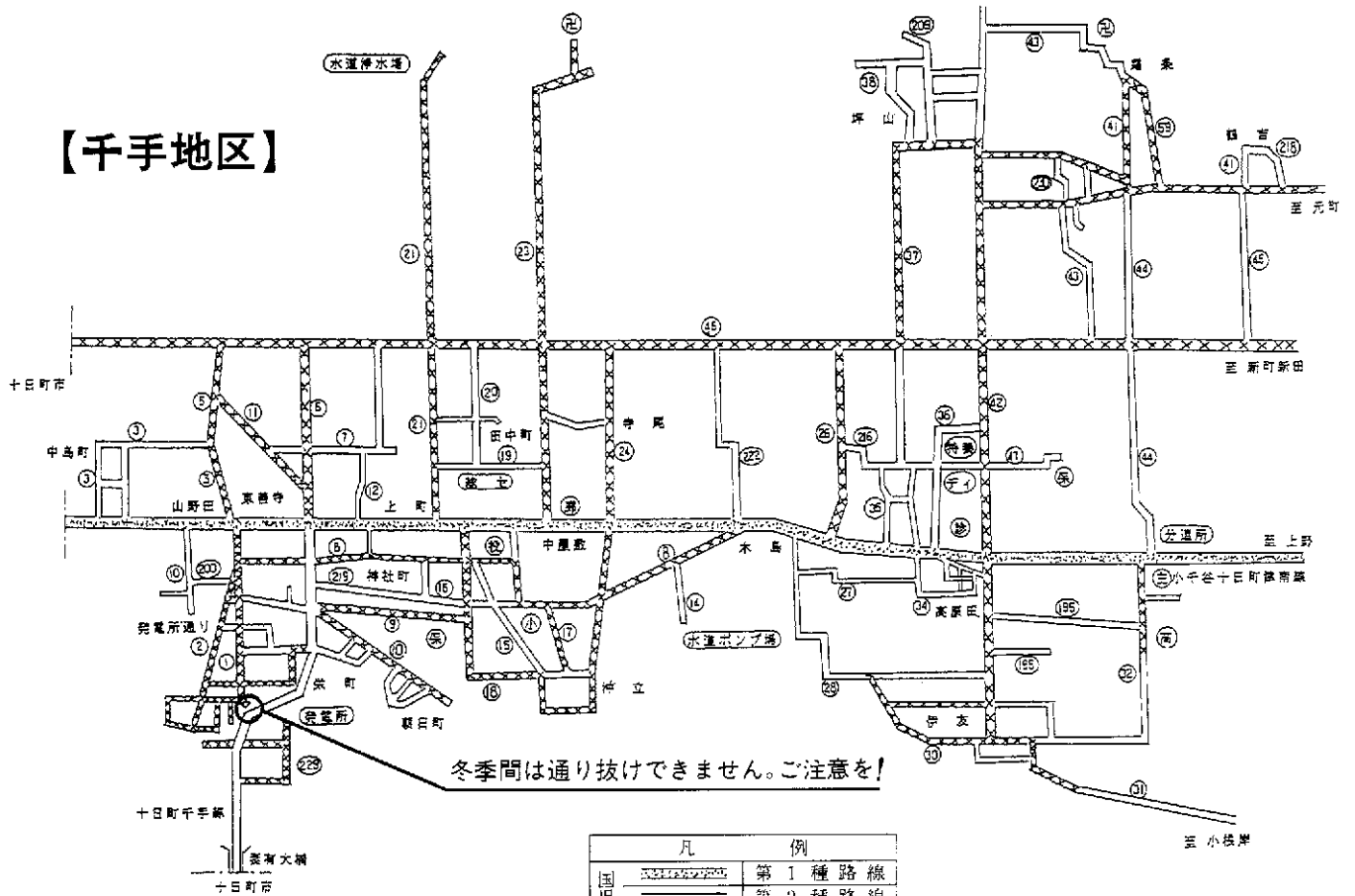
② 貴地区においては、道路幅員が
狭く、除雪には大変苦慮している
路線の一つとなっています。この
ため、改良整備をし、工事の計画
をしていたところ、一部地権者の
同意が得られず、断念せざるを得
なかったという経緯があります。

道路改良は、地権者から大切な
土地を譲っていただかなければで
きない事業です。

快適な地域社会形成に向け、地
区民の相互理解、協力など、全員
で話し合い、地区としてまとめ
ば、必ずや実現するものと考えて
おります。

道路除雪計画路線図①

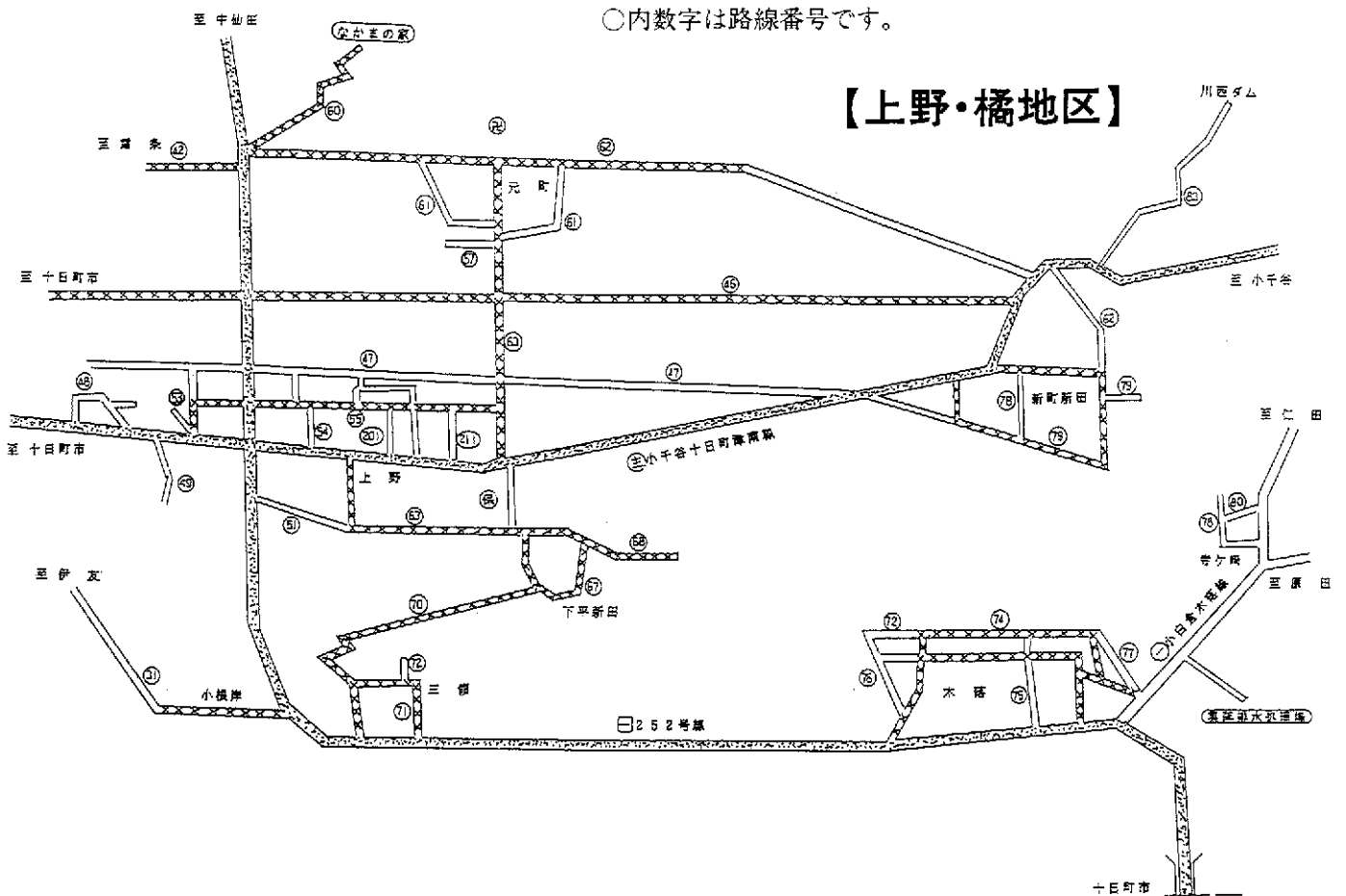
【千手地区】



	凡	例
國 原 道		第 1 種 路 線
		第 2 種 路 線
		第 3 種 路 線
町 道		第 1 種 路 線
		第 2 種 路 線
		上 雪 路 線

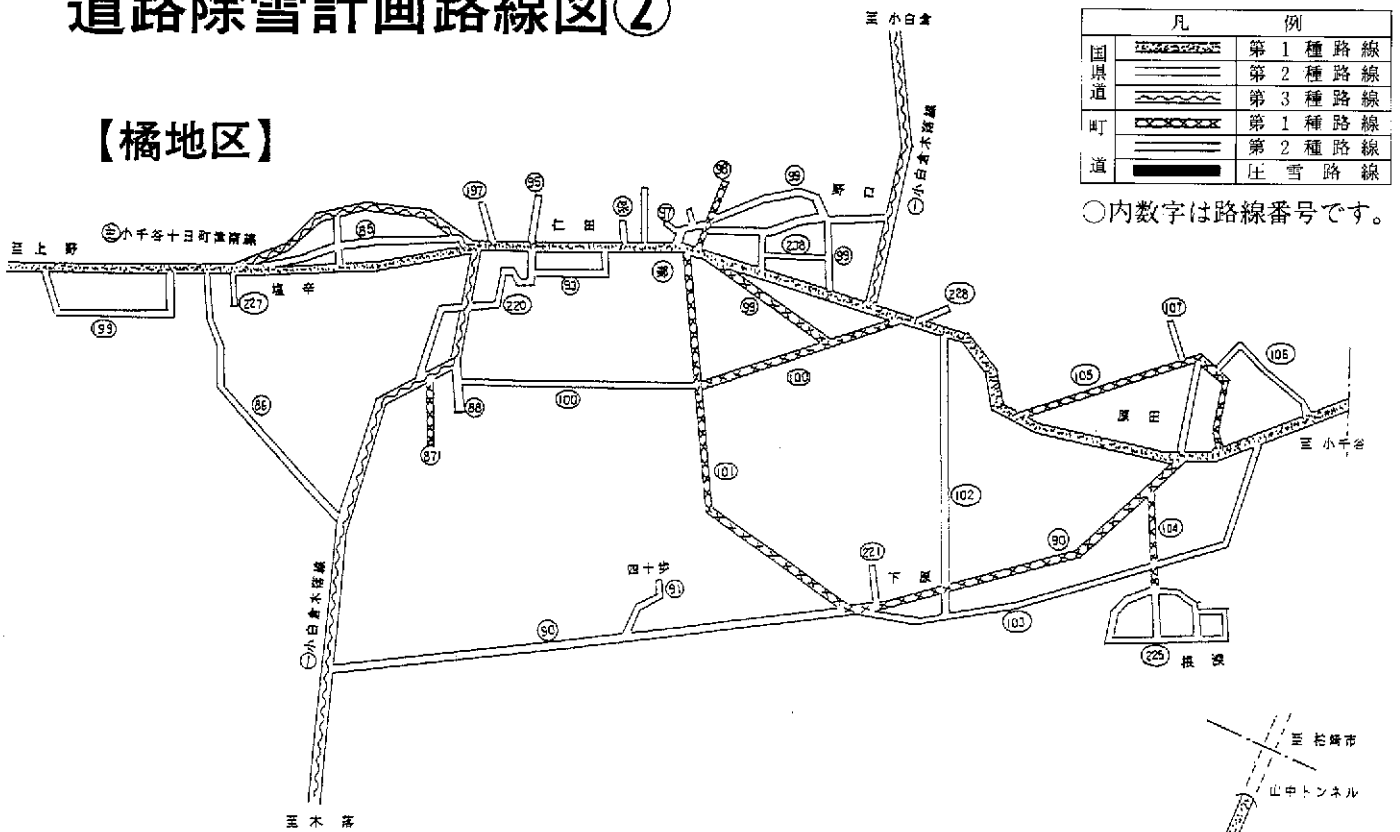
○内数字は路線番号です。

【上野・橘地区】

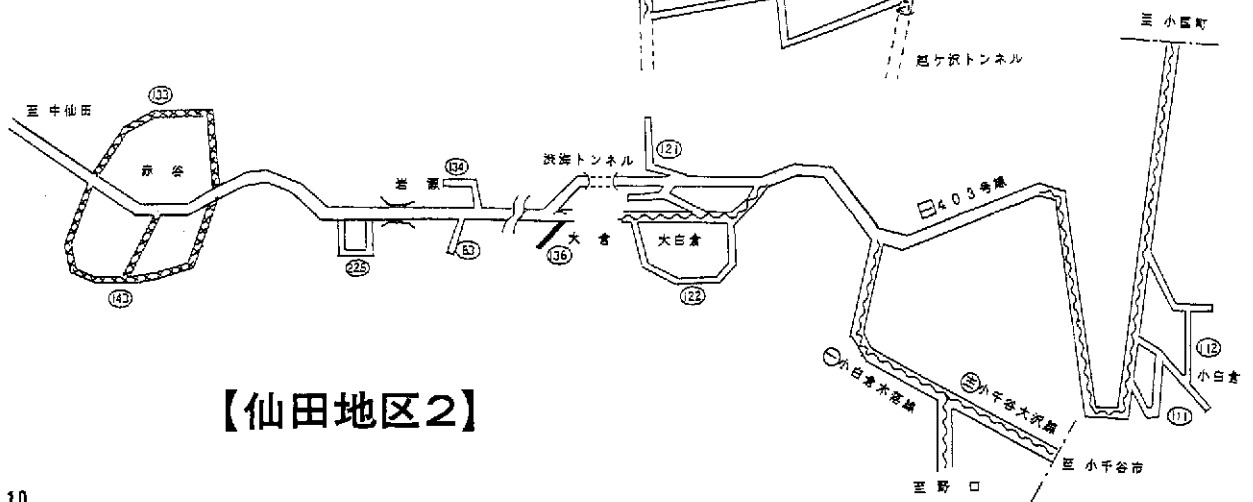
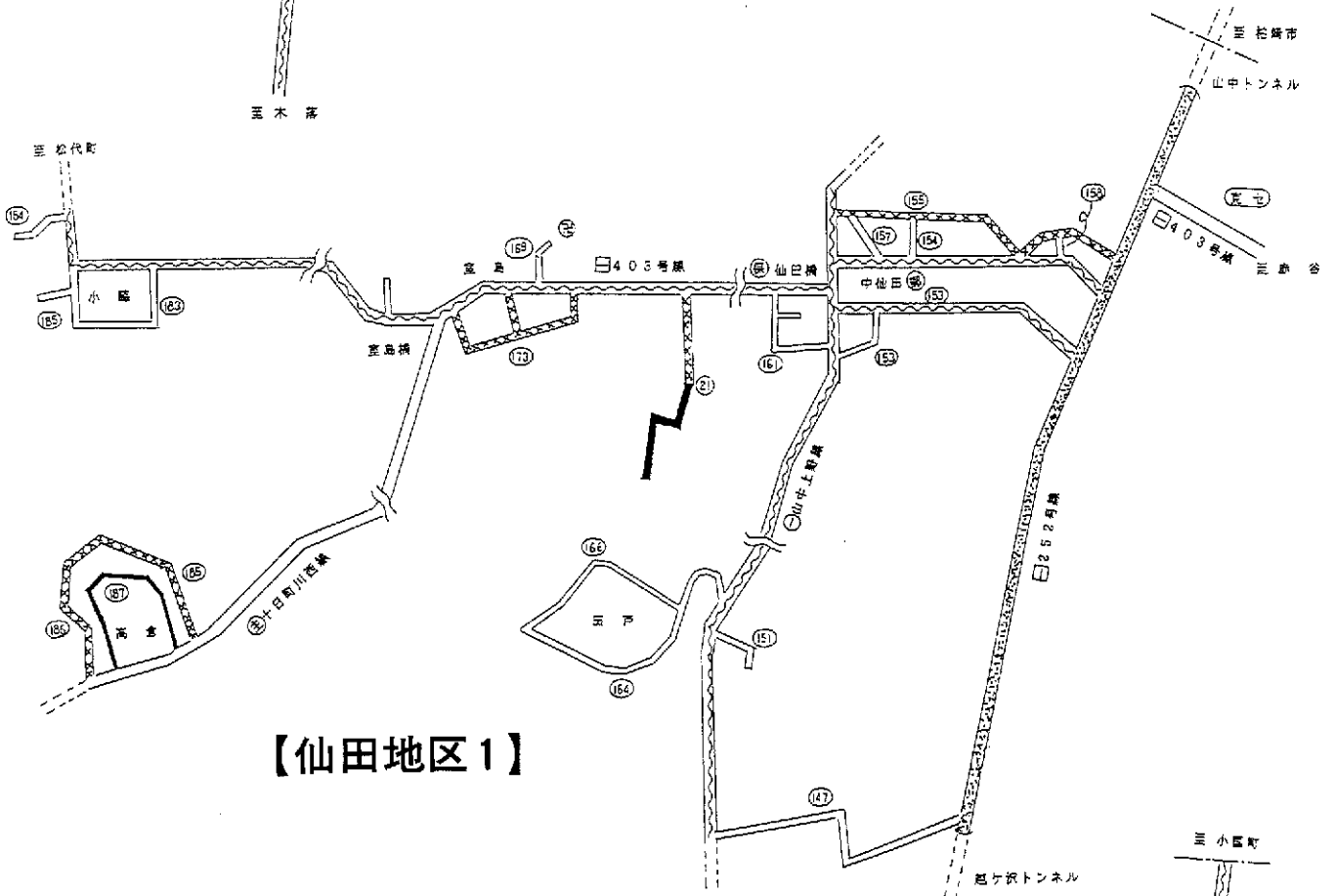


道路除雪計画路線図②

【橘地区】



【仙田地区1】



保坂さん（上町）が

文部大臣賞を受賞



で、個人で体育功労賞を受賞するのは、町では初めての事です。

保坂さんは、昭和二十九年に千手町役場に勤務され、体育指導員制度発足（三十六年）以前から社会体育の指導に従事。制度発足から町体育指導員となり、四十二年に中越地区社会体育研究協議会の創立に尽力。四十三年から四十七年までと、五十一年から五十二年まで二回会長を務められました。

また、四十三年から五十一年にかけては、県体育指導員協議会の初代理事長に、五十一年から五十二年までは同会副会長に就任。県全体の組織作りに大きく貢献しました。

中條さんが農林水産大臣表彰

統計の日の十月十八日、中條勝さん（岩瀬・61歳）に農林水産大臣表彰が贈られました。



これは、北陸農政局新潟統計情報事務所（農林水産省）が実施する統計情報業務の協力に功績のあった人に授与されるもので、中條さんは、農業経営統計調査農家として五年間記帳調査に協力。その調査結果は、農業施設、価格安定施策を始め、経営改善などの基礎資料として活用されています。

『かわにし自満祭』



牧千恵子さんのピアノと立原摂子さんのヴァイオリンの演奏が聴衆を魅了した「中学校ピアノ開きコンサート」

町誕生40周年を記念して実施された「かわにし自満祭」も、今年は第2回を迎え、11月1日から3日まで川西中学校などを会場に盛況に開催されました。1日の農業感謝祭・ピアノ開きコンサート・映画上映に始まり、2日の大なわとび大会・民謡とおどりの祭典、3日の夢きやらばん公演が3日間の祭りを締めくくりました。また、祭りには欠かせない屋台も、来場者をいっぱい楽しませてくれました。一万、総合体育館を会場に、1日・2日両日開催の町民文化祭97にも大勢の皆さんが足を運び、恒例となった秋の行事を堪能しました。



▲脚本から演出まで町内の素人集団で実施した夢きやらばん公演「竜眼」



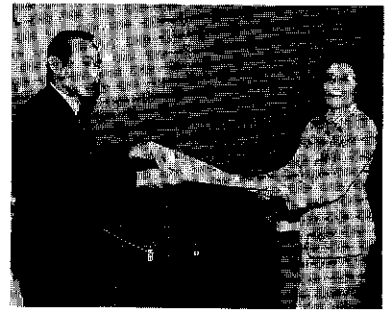
45演目の出し物に、聴衆も十分楽しんだ民謡とおどりの祭典



▶川西中学校全校生徒による合唱

川西町ピアノ開き記念コンサート

水品さんが県知事表彰



志田六日町社会保健事務所長(左)から表彰を受ける水品さん

十一月二十日、国民年金制度の趣旨や推進、同制度にかかる相談業務など、国民年金委員としての功績が認められ、水品節さん(三領・67歳)に新潟県知事表彰が贈られました。

水品さんは、昭和五十五年十二月から現在まで十七年間、県国民年金委員としてお骨折りいただいております。

自らが進める地域づくり

十日町地域ニューにいがた

シリーズ 里創プラン②

今回は、「妻有郷アートネットワーク整備構想」が、十日町圏域六市町村の全住民の方々からかわってもらい、みんなで作り上げてゆく、こんな事業であることを説明させていただき、今後この事業をみんなで一緒にやって作ってゆきたいと思っています。具体的には、次のようなことを考えています。

1 「妻有郷八万人のステキ発見」(仮称)

これは、妻有郷のステキ(自然、人、食、行事など)を写真に撮ってもらいコンテストし、「妻有郷のステキ」を圏域の内外にアピ

- ルするものです。この事業は、平成十一年に開催される「大地の芸術祭」の事前事業として開催され、後に続く大事な事業です。この事業のかかわり方としては、
- ①写真を撮って応募していただく。
- ②実行委員会に参加し、企画や運営などをする。
- ③コンテストの商品となるものを提供していただく。
- ④協賛いただく、など。

このようなことが考えられます。みんなの知恵と力を出し合って作り上げたいと思います。

2 「交流の道」

参加者自らが満足



肉の大安売り、500パックが20分で完売

今回の大なわとび大会の優勝記録は百三回でした



これは、現在各市町村の個人・団体が既に実施しています「花いっぱい運動」を拡大しようとする「花の道」構想です。十日町圏域に家の玄関口を飾ったり、六市町をつなぐ道を飾ったりしたいと考えています。「花の道」構想での私たちのかわり方は、

- ①花を植える。
 - ②維持管理して美しく咲かせる、など。
- 現在の「花いっぱい」を更に拡大するためには、圏域を自分の庭と思い、みんなから参加してもらいたいと思います。

3 「大地の芸術祭」

これは、アトリエンナーレとよばれ、三年に一度、国際芸術祭を開催しようとするものです。「大地の芸術祭」の運営には実行委員会が当たります。イベント期間は、およそ二か月間に及ぶもの

4 「自然体験型ふれあい文化施設(ステージ)」

六市町村それぞれに設置される交流の拠点となり、「大地の芸術祭」のメインステージとなるものです。ここでの私たちのかわり方は、このステージで開催される様々な行事にあります。内容は、

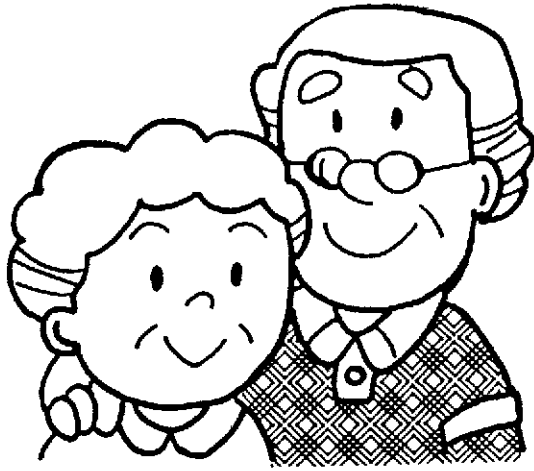
- ①行事に参加する。
- ②行事を自ら企画運営していく。
- ③地域の物産やレストランの営業をする。
- ④体験教室を開催する。
- ⑤施設や公園などの市町村ステージ全体の計画作りに参加する、などです。

このように、すべての事業に圏域の全員からかわってもらい、圏域全体のイベントとして盛り上げていくことが大切です。それは、圏域の住民だれしもが「妻有郷アートネットワーク整備構想」の主役であり、舞台の裏方でもあるのです。圏域の全員が楽しみ、そして訪れてくれる人を楽しませよう、そんな事業にしていきたいと思っています。

※ご不明な点やお問い合わせは、十日町地域広域事務組合企画振興課企画振興係(☎57-2637)へ。

で存じですか

退職者医療制度



長いあいだ勤めた会社や役所などを退職した人で、現在、国保に加入し、厚生年金や各種共済年金をもらっている六十九歳以下の人とその扶養家族は、退職者医療制度によって診療を受けることとなります。

★適用の条件

1 国民健康保険に加入している人
2 老人保健法の適用を受けていない人

3 厚生年金保険や各種共済組合の年金を受けている人で、これらの年金制度の加入期間が二十年以上、もしくは四十歳以後の加入期間が十年以上ある人

★対象となる人

適用の条件すべてに該当する人（退職被保険者本人）とその扶養家族（※）

※扶養家族の範囲……退職被保険者本人と一緒に暮らし、主として退職被保険者本人の収入によって生計を維持している人（ただし、所得制限があります。）

★医療機関窓口での支払い

◎退職被保険者本人……通院・入院ともに医療費の二割

◎扶養家族……通院は医療費の三割、入院は医療費の二割
ただし、入院時食事代、外来時の薬剤は別途負担があります。

★適用になる日

退職者医療制度の資格は、年金受給権が発生した日又は国保に加入した日のいずれか遅い日から有効となります。

★届け出

年金証書を受け取ったら、十四日以内に役場住民課窓口へ届け出てください。（年金証書、保険証、印鑑を忘れずにお持ちください。）

★特例療養費

年金証書が手元に届くのに時間がかかることがあります。年金証書の確認が済むまでは、一般国保の保険証で医療を受けていただき、一部負担金を三割支払った場合、退職被保険者の一部負担金（二割）との差額は申請により払い戻しになります。

★保険税

退職被保険者とその扶養家族の保険税の計算方法は、一般の国保の被保険者の保険税の場合と同じになります。

なお、同一世帯に一般の国保の被保険者と退職被保険者が混在している場合の保険税は、合算した額が世帯主に課税されます。

★制度の適用を受けなくなる場合

- 1 老人保健法により医療を受けることになったとき。
- 2 退職被保険者本人が亡くなったとき。
- 3 国保以外の他の保険に加入されたとき。

70歳以上の方は

老人保健制度が

適用されます

満七十歳の誕生日の翌月（月の一日生まれの人は当月）から、「老人保健制度」で医療を受けることとなります。（寝たきりなどのお年寄りは六十五歳以上から受けられます。）

★届け出

適用となる月の前月末に、対象者あてに役場から通知しますので、役場住民課窓口へ届け出ていただきます。老人保健法による医療受給者証を交付します。

★医療機関にかかるときは

保険証と医療受給者証の両方の提示が必要となります。

★医療機関窓口での支払い

- 通院 一日 500円（最高一か月2,000円）
- 入院 一日 1,000円とします。

ただし、入院時食事代、外来時の薬剤は別途負担があります。

★注意すること

加入している健康保険証が変わったとき（国保→社会保険→別の社会保険）又は、町外に転出するときは必ず役場住民課窓口へ届け出が必要です。詳しくは、住民課国保係（☎68-3111内線206）までお問い合わせください。

川西町への歩み^②

岩瀬 金子 幸作

吉田と真人の動向

川西郷六か町村の首脳が千手町役場に集まり、合併について初めて審議したのは昭和二十九年三月二十日で、小千谷町が市に昇格してから十日後のことであった。出席した各町村長と議長は、合併して不利になつてはという思惑もあったのか、当初は積極的な発言がみられなかった。しかし、この初会議をとおしてはつきりしたことは、川西郷合併の鍵をにぎつてい

るとみられていた吉田村が六町村の大同合併に反対であること、それに、真人村もまた、どっちかという吉田村と同様な気配をもっていることであつた。

動向が注目されていた吉田村が大同合併に反対する理由として打ち出したのは次の三点であつた。

①経済的に八割以上が十日町に依存していること。
②県道改修計画上、十日町と連携してゆかねばならぬこと。
③村経済の自立策として、浅ヶ原貯水池周辺を十日町の観光遊園地に指定すること。

腹のさぐり合い

川西郷大同合併の主流とみられ

た上野村・橋村の両村は、最初からあまり中心部主張の態度を明確にしていたため、この大同合併が不成立の場合には思わぬ窮地に追い込まれることが憂慮された。

態度をあいまいにしていた千手町もまた、国鉄固定資産税問題と関連して、上野村、橋村のような財政に恵まれない村との合併を回避し、将来は十日町と合併の態度を模索しているようであつた。

真人村は、経済上畜産関係で提携してゆける下條村との合併を強く望んでおり、これに岩沢村を加えて三か村の合併、もしくは橋村が中心部主張を捨ててならば、橋村も含む北部四か村合併案を立案したと伝えられた。この線でゆくと上野村が完全に浮き上がってしまうことになる。次回の協議会では、経済的な見地から吉田村と千手町は十日町と合併し、他の四か村は川東地区の合併計画とにらみ合わせて第二案に落ち着くのではないかとみられた。

大千手町を夢見る

三月二十八日、千手町議会は、昭和二十八年年度予算の追加更正を行った後、町村合併についての協



上野(左)と橋の中心街



強気の上野・橋村

四月九日、信濃川をはさむ北部五か村の合併に関する会議は、下條村長の招請によって下條村役場で開かれた。真人村は、旧制小千谷中学校出身者が指導層に多い関係上、川東地区と合併して遠隔地となるよりは、小千谷市と合併した方が西部県道改修、観光地等の問題もからんで有利だとする声が高まっていた。岩沢村も、一部この案に同調する動きがあり、目下情勢判断に苦慮している形であつた。上野村、橋村、下條村は、当然合併の方向に話が進んでゆかなければならないのであつたが、川西合併の中心部を夢見る上野村、橋村は、依然強気であり、年内の一次合併は困難とみられた。

合併案を県へ答申

四月十四日、中魚沼郡町村合併促進委員会は、県自治課からの要請をうけて、合併案の成案を得るために協議した。その結果、各町村を委員が手分けしてたずねて実情を打診し、中魚沼地方事務所で開催された第五次合併委員会での合併案を答申した。

①津南地区 下船渡村 中深見村 秋成村 芦ヶ崎村 上郷村
外丸村の六か村を合併。
②中部地区 田沢村 水沢村 倉俣村 貝野村の四か村を合併。

③川西地区 千手町 吉田村 上野村 仙田村の一町三村合併。
④北部地区 真人村 橋村 岩沢村 下條村の四か村を合併。

川西郷合併は不可能

六月二十九日、千手町と上野村の首脳部は、千手町役場において合同協議をした。この日は、これまでの川西合併について諸情勢の検討が行われたが、千手町長、上野村長ともかなり明確な意見交換をした。すなわち、次のことが両町村長の構想として発表された。

①現段階では、川西郷の大同合併は不可能である。

②吉田村と橋村の態度は、まだ判然としていない。

③千手町と上野村が先ず合併する態度を決定し、吉田村と橋村に合併を呼びかける。

④この構想に、吉田村と橋村が参加しない場合は、千手町と上野村はそろって十日町市と合併すべきであると考えている者が多い。仙田村では、この発表に先だつて川西各町村を歴訪し、同村の将来性から川西郷の大同合併を希望すると伝えており、橋村もこれに賛成しているようであつた。

七月十日、川西郷大同合併の鍵をにぎる千手町では、十日町市に合併の動きがあると伝えられる吉田村の議会議員を招き、同町公民館で初の合併懇談会を行った。引用 「新潟県市町村合併誌」

お知らせコーナー

北越急行社員募集

●募集職種

土木技術 (鉄道施設などの保守・管理業務)

●募集人員

2人ていど

●募集期間

平成9年12月15日～平成10年1月19日

●入社時期

平成10年4月1日

●勤務地

松代工務区 (東頸城郡松代町)

●募集要項

詳しい募集要項は、北越急行総務課へ80円切手を添えてお申し込みください。(沿線地域の職業安定所にもあります)

※問い合わせ先

〒949-166

南魚沼郡六日町大字六日町

137番地2

北越急行(株) 総務部総務課

☎0257-70-2820

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

小林 璃咲 勝茂 中仙田

佐藤 翔主 剛 発電所通東

古川 颯 真哉 仁 田

春日 亜美 一生 中島町

たかさご—円満に

相馬 伸幸 木落

金沢 康子 十日町から

茂野 申吾 室島

山田 フジエ 十日町市

昇天—ごめい福を祈る

清水 正文 86(正文) 上町

高崎 トノ 85(正弘) 学校町

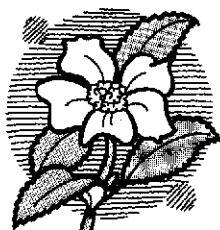
中村 タケ 79(茂二) 坪山

高橋 美枝 69(満一) 伊友

平野 稔 65(稔) 登所通り西

江口 正則 39(正則) 新町新田

(11月1日～30日届け出分)



「NHK海外たすけあい」にご協力を

海外の恵まれない人々に援助の手を差し伸べる「NHK海外たすけあい」が、12月25日まで実施されています。

義援金の受付窓口は全国の郵便局、都市・地方銀行を始めとする

各金融機関、農協、NHK各放送局、日本赤十字社本社・支部、赤十字の社会福祉施設などです。みなさまの温かいご協力をお待ちしております。

手打ちそばに舌鼓

十一月二十三日、木落構造改善センターで、「秋遊のもくらぞつき」(二打席目)と銘打った収穫祭が開催されました。これは、木落集落で取れたそばを、自分たちで打って、みんなで食べて楽しむという企画。

この催しは、地域の生産組合と有志が「蕎麦づくりなにとくらぶ」という実行組織を編成。木落生産組合が転作田で栽培したおよそ一・五ヘクタールのそばの中から贈られました。集まった多くの家族連れなどが、手打ちのそばに舌鼓を打っていました。



家族連れや仲間同士で、多くの人たちが、秋の一日を楽しみました

訂正

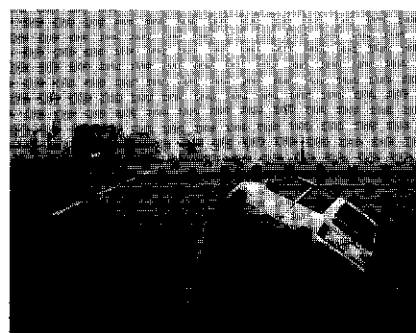
福祉に
桑原 要雄(室島) 十万円
一般寄付
匿名希望 四万円

◎11月10日号広報かわにし「滋野一郎さん秋の叙勲で栄誉」で、議会議員歴38年4か月が35年2か月となっていました。訂正しておわびいたします。

◎11月20日号広報かわにしお知らせ

年末の交通事故防止運動

12月11日(木)～31日(水)まで
飲酒運転 絶対しないが 合言葉



10・25幹線町通で

せ版「暮らしのカレンダー」で、12月25日国保診療所エコー検査は、実施いたしませんので、訂正いたします。

表紙の写真

十一月十五日、町では、千手角万寺スキー場北側にある町有地で、「森や林の緑に対して認識を深めてもらおう」と、森林体験学習（教室）を開催。上野小児童や仙田小児童、父兄らおよそ百人の手によって、ブナの苗木三百本が植林されました。

この場所は、旧巢鴨信用金庫の保養地に当てられていた所で、およそ二ヘクタールあります。「町のために生かせる施設にしたい」という意向から、今年は、およそ一ヘクタール（二千五百本）のブナを植林する計画をしており、この日は、今年の仕上げ分が植林されました。残りの二ヘクタールについても、来年度以降、同規模で植林をする計画をしています。

参加者は、植林作業後、昼食に用意された森林汁に舌鼓を打ったあと、午後からは森林のしくみや森林が生むキノコの生態などを学び、認識を新たにしていきました。

かわい

俳壇 高崎正風選

息白く朝の言葉を交しけり
霜条 大海 白濁
たまたまの秋の天気を大切に
高原田 引間 子舟
橋なかば来て引き帰す時雨かな
野口 野沢 寅生
深々と落葉敷きたる木立かな
小白倉 江口みゆき
山茶花のまだ咲く蕾ある師走
大倉 中条 石平
放牧の牛も牛舎や草枯る、
野口 五十嵐トラ
流星や少女宇宙へ旅立ちぬ
田中町 石沢 澄代
音立てて茎漬喰める朝餉かな
山野田 藤田ひろ志
大根に土の匂いもち帰る
八王子市 松浦 サク
カレンダー丸めて配る歳暮かな
高倉 斎木 和人
分けてやる丹精こめし菊の花
厚木市 川崎 保一
野仏に布を掛けやる霜の朝
赤谷 小林 哲
狒犬に社の屋根に落ち葉かな
野口 村越 由喜
児等二人同じ落葉を拾いをり
綾瀬市 野沢ますえ
まづ拝み宮居の落葉掃きにけり
野口 村越 幸
落ち葉焚く煙りに空の深まりて
相模原市 佐藤 周二
寺尾 白井すみい
瀧の如銀杏落とせし野分かな

休日救急医

- 12月14日 山口医院(袋町中) 52-2174
21日 第二藤巻医院(上野) 68-2018
23日 大熊内科医院(山本町) 52-7066
28日 至誠堂医院(西浦西) 52-3276
中条病院(中条) 57-3018
29日 庭野医院(寿町) 52-2711
30日 田中外科医院(田中町) 52-2403
31日 大島医院(川原町) 52-2957
1月1日 山口医院(下条) 55-2003
2日 富田医院(神明町) 52-3269
3日 田中外科医院(田中町) 52-2403
4日 第二藤巻医院(上野) 68-2018
中条病院(中条) 57-3018

”やりとり遊びを
楽しみましょう”

遊びは子供にとって生活そのもので、運動面・情緒面・ことは・社会性の発達がなされていきます。日常、いろいろな遊びをしていると思いますが、今回は、いくつかの遊びを紹介します。

☆赤ちゃんのころ

ほおずりしたり、くすぐったり手足にさわったりしてみます。何でも口へもっていきまますので、危険のないように配慮して大いにやらせましょう。寝かせてばかりでなく、おんぶや抱っこで戸外の散歩を楽しみましょう。

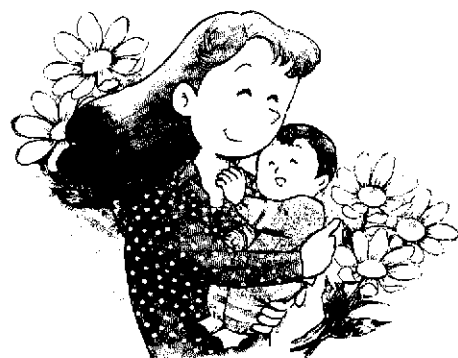
☆7カ月ころから

紙・テッシュペーパーをつかんで出させたり、新聞紙を破いたりイナイナイバーをしたり。水を手でピチャピチャ、茶わんなどで水をすくったり。

豆・マカロニ・さわらせたり、握らせたり、空き缶の中に入れたり出したり(口に入れないよう注意しましょう)

☆1才のころから

大人のしぐさを盛んにまねします。ので、子供の手をとってあげるか、向い合ってまねしやすいようにし、手遊びを楽しみましょう。「上り目下り目」「一本橋コチョコチョ」「大きな大鼓」「げんこ



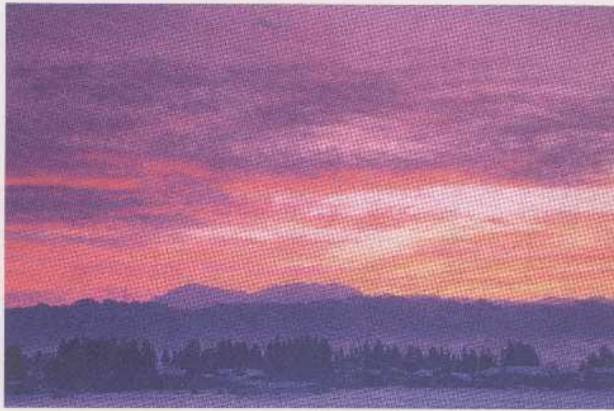
つ山のためきさん”など。

「高い高い」や抱っこしてグルグル、毛布ブランコ、段ボール箱にひもをつけて引っぱる箱車など身体をつかったダイナミックな遊びも、気持ちをリラックスさせます。

笑ったり、催促したりしてくれるようならもう一回やってあげましょう。恐がるようなら、抱っこして安心させてあげましょう。

町では、親子で楽しんで遊んでもらおうと、月一回「すくすく教室」を行っています。12月は24日(休)午前9時30分からクリスマス会です。保育園入園前の方を対象にしていますので、ご参加下さい。

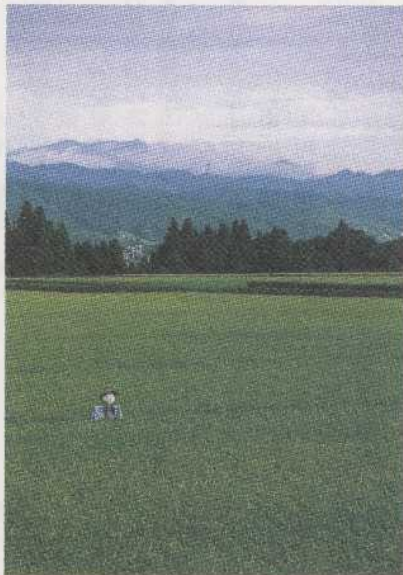
かわにしいとこ写真コンテスト入賞作品



▲観光協会賞 「冬の朝」
高原田 茂野 誠一郎 さん



▲町長賞 「朝もや」
寺尾 酒井 一夫 さん



「瑞穂の国の住人」
山野田 宮正 朗 さん

▶自満祭特別賞
「ルート252秋」
十日町市 中条健一 さん



「ぶな林散策」
高原田 黒島 善助 さん



「霧の朝」
木島 南雲 幸男 さん



「252号」
高原田 茂野 孝志 さん

「農夫」
中央町 羽鳥 宏史 さん



(ちいさな展覧会1月号は

仙田小学校です)